

## ◎ 聴解問題スクリプト

**練習** 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらおう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

**13番** 女子学生が、男子学生にレポートについてアドバイスしています。この女子学生は、男子学生にどんなことを勧めていますか。

男子学生：経済のレポート、もう書いた？

女子学生：うん。書き始めたら、夢中になっちゃって。

男子学生：えーっ、そうなんだ。僕は何だかやる気が出なくてさ。

女子学生：とりあえず、机に向かってみたら？

男子学生：でも、何をどう書くか、まだ計画も立ててないし。

女子学生：じゃあ、まずノートを見直すとか、疑問に思う点を書き出すとか……。もう始めないと、締め切りに間に合わないよ。

男子学生：それはそうなんだけど……。

女子学生：心理学の授業でも習ったじゃない。気分が乗らなくても、実際に体を動かしているとその気になってくるって。

男子学生：そうだね。じゃあ、図書館に行ってみるか。

女子学生：そうそう，その調子。

この女子学生は，男子学生にどんなことを勧めていますか。

1. とにかく何か行動を起こすこと
2. 事前に計画を立てること
3. 心理学の授業に出ること
4. 締め切りに間に合わせること

**14番** 先生が，授業で睡眠について話しています。この先生は，睡眠について何と  
言っていますか。

みなさんは，毎日一定の時間，同じ量の睡眠を取るべきだと考えていませんか。実はこのような考え方は，一部の限られた社会で働いたり生活したりしている人々が実行しているというだけのものであって，これが正しいという根拠はありません。一般的に言われている一日8時間という睡眠時間の目安も，それぐらい寝る人が最も多いというだけのものです。もともと，人は睡眠に関して適応力があるので，睡眠時間が短くてもあまり神経質に考える必要はないのです。特に若い人は熟睡しやすいですから，時間的不足を深い眠り，つまり，質で補うことができます。

この先生は，睡眠について何と断っていますか。

1. 睡眠時間は8時間が理想的だ。
2. 睡眠時間の長さを決める必要はない。
3. いつも同じ時間帯に睡眠を取ったほうがいい。
4. 自分が所属する社会の習慣に合わせたほうがいい。

**15番** 先生が「わかる」ということについて話しています。この先生は「わかる」ために必要なことは何だと言っていますか。

ここに新しいカメラがあります。でも，あなたは使い方がわかりません。これを使って写真を撮ってきてくださいと言われたらどうしますか。分厚い説明書を読みますか。確かに，説明書に目を通せばわかった気になるかもしれませんが，それですぐに使えるとは限りません。新しいカメラを使いこなそうと思ったら，説明書を読むより，いろいろな操作を試しながら，実際に撮ってみることが一番です。頭で理解するだけでは，本当の意味でわかったとは言えません。現物にあたってはじめて使いこなせるようになるのです。つまりこれが「わかる」ということです。

この先生は「わかる」ために必要なことは何だと言っていますか。

1. 説明書を読むこと
2. 人に聞いてみること
3. 機械のしくみを理解すること
4. 実際にやってみること

**16番** 男子学生と女子学生が一人暮らしについて話しています。この女子学生が今一番大変だと言っていることは何ですか。

男子学生：君って、一人暮らしなんだよね。いいなあ、自由で。うらやましいよ。

女子学生：うん、確かに自由だけど、自分でやるのがたくさんあって大変。朝起こしてくれる人もいないし……。

男子学生：そうか、病気になったときなんかは、心細いかもね。それに食事とか掃除、洗濯とか……。

女子学生：ああ、そういうことは誰でも自分でやることでしょ。それよりも今は、いろいろ売りに来るのを断るのが大変。

男子学生：ああ。訪問販売ね。そんなにたくさん来るの？

女子学生：たくさんっていうより、しつこいのね。少しでも話を聞いてしまったら、いろいろ言ってくる。だから、要らないものは要らないって、勇気を持って言わないとね。

この女子学生が今一番大変だと言っていることは何ですか。

1. 毎朝自分で起きること
2. 病気のときに周りに人がいないこと
3. 食事や掃除、洗濯をすること
4. 訪問販売を断ること

**17番** 先生が、生物学の授業で、種の発芽に関する実験について話しています。この先生の話から、どんなことがわかりますか。

ある種類の鳥は、植物の実を食べた後、種をほとんど消化することなく糞と一緒に排出しています。外に出された種はいずれも、周りに果肉、つまり実の部分ですが、これはほとんどついていません。

種の発芽は、果肉が付いているかどうかと関係があるのでしょうか。それとも鳥に食べられたかどうかと関係があるのでしょうか。それを調べるために、実験が行われました。

実験では、鳥が果肉を食べ糞と一緒に排出した種と、果肉がついたままの種、人が果肉を取り除いた種の3種類を使って、芽の出やすさを調べました。すると、果肉がついたままの種はほとんど芽が出ませんでした。果肉のない種はどちらも芽が出やすいという結果が出ました。

この先生の話から、どんなことがわかりますか。

1. 鳥は果肉を消化しないこと
2. 果肉が取り除かれると、芽が出やすくなること
3. 果肉が発芽を助けていること
4. 人が果肉を取り除いただけでは芽が出ないこと

**18番** 先生が、人との交流について話しています。この先生は、自分の交流範囲を広げるために、まず何をするように言っていますか。

今、私たちは意識して多様な人々、たとえば年齢や職業の異なる人たちと交流を持つことがとても大切です。「年齢や職業の異なる人と知り合う機会なんてない」と思うかもしれませんが、そんなに難しいことはありません。いつも買い物をする店の店員や、通学途中で時々見かける人に「今日はいい天気ですね」と言ってみてはどうでしょうか。続けて何度も会ううちに、ひとことふたこと会話をかわすようになるかもしれません。そのようにしてできた交流は、きっと、皆さんの将来を豊かにしてくれるはずです。

この先生は、自分の交流範囲を広げるために、まず何をするように言っていますか。

1. 買い物など外に出かけることを増やす。
2. 自分の周りにいる人に挨拶を試みる。
3. 知らない人となるべく会うようにする。
4. いろいろな年齢の人たちと深く付き合う。

**19番** 先生が、授業で、情報化社会について話しています。この先生は、メディアから発信される情報に対して、受け手はどのように接すればいいと言っていますか。

情報化社会では、常に多くの情報が溢れていますが、すべてが信頼できる情報とは限りません。ですから、新聞やテレビ、インターネットなどからの情報を常に批判的に見る力が必要になります。批判的な見方を養うには、一つのメディアの情報だけを見て、それを信じてしまうのではなく、多角的な視点を持つようにするといいでしょう。例えば、新聞報道は、どこの新聞社も同じ内容ではありません。取り上げている話題は同じであっても、

新聞社ごとにそれぞれ違った視点で分析して記事を書いているのです。ある視点で書かれた情報の一面だけを見て納得してしまうのではなく、いろいろな視点の情報を見て検討することが必要なのです。

この先生は、メディアから発信される情報に対して、受け手はどのように接すればいいと言っていますか。

1. 報道側の視点に立って情報を分析する。
2. メディアが取り上げた内容の情報源を調べる。
3. 自分が納得できるメディアから情報を得る。
4. 異なるメディアからの情報を比較する。

**20番** 先生が「言葉の働き」について話しています。この先生は、言葉のどのような働きに注目していると言っていますか。

言葉の働きというと、コミュニケーションということがまず頭に浮かぶでしょうが、言葉で気持ちの全てが表現できるというわけではありません。また、言葉の働きというのも、相手に気持ちを伝えることだけではありません。例えば、私たちは誰に見せるわけでもないのに毎日日記を書いたり、時には一人ごとをつぶやいたりします。それは、自分の中に蓄積されていた様々な複雑な感情が溢れ出てくるからではないでしょうか。言葉にすることによって気分が晴れる、そのような浄化作用が言葉にはあると思います。私が注目したいのは、言葉のこのような点です。

この先生は言葉のどのような働きに注目していると言っていますか。

1. 人から人に情報を伝える働き
2. 自分の気持ちを人に理解させる働き
3. 感情を解放させる働き
4. 他の人を元気にする働き

**21番** 先生が、生物学の授業で、鯨の生態について話しています。この先生は、主に鯨のどんな特徴について説明していますか。

鯨は、海の中で生活している世界で最も大きい生き物です。ある種類の鯨は、一年の間に、南極の海から赤道近くの海まで、およそ2万キロを往復する習性があるのですが、どうしてこのようなことをするのでしょうか。

それは海の温度と関係があります。赤道近くの海は暖かいので、子育てをするのに適し

ています。しかし、えさとなる生物は少ないので、ずっとここにいるわけにはいきません。一方、冷たい南極の海は、えさはたくさんありますが、冬になると海が凍ってしまい、子育てに向きません。また、哺乳類である鯨は、氷の下では呼吸ができないのです。

この先生は、主に鯨のどんな特徴について説明していますか。

1. 海から出ると呼吸ができないこと
2. えさが豊富な南極の海で子育てをすること
3. 広い範囲を移動すること
4. 海の中で暮らす生き物の中で最も体が大きいこと

**22番** 地方都市の議員が、自分の仕事について話しています。この議員が、これからしようとしていることはどんなことですか。

私は、かなり前から社会に対していろいろな矛盾を感じていて、政治の世界に入れば世の中をより良くできると思っていました。それで議員に立候補したのですが、いざ議員になってみると、政治だけで社会を変えていくのがどんなに難しいか、よく分かりました。

しかし、地域の方々が現実に直面されている身の回りの問題に取り組むうちに、協力してくださる住民の方が一人、二人と増えていき、それが地域改革のエネルギーになっていくことに気づいたんです。地域をよくしたいと考える住民の方々と一緒に知恵を出し合っ、て、住みやすい環境を作っていく。今後こうした活動をしていきたいですね。これは周囲の地域にもいい影響を与えていくのではないのでしょうか。

この議員が、これからしようとしていることはどんなことですか。

1. 政治の世界を良くすること
2. 住民とともに問題を解決すること
3. エネルギーを節約して環境を守ること
4. 周囲の地域と交流すること

**23番** 先生が筋肉のトレーニングについて話しています。この先生は、トレーニングの何に注意するように言っていますか。

筋肉を強くするためのトレーニングは、毎日やればよいというわけではありません。一般的に、筋肉は、トレーニングの後機能が低下します。そしてその後、栄養と休養をとることで、前より少し強くなるという過程をたどります。前より強くなったこの段階で、またトレーニングをして栄養と休養をとれば、筋肉はさらに高いレベルへ向上します。これ

を繰り返すことにより、筋肉はだんだん強くなっていくのです。したがってトレーニングは、毎日ではなく、2、3日間をあけると効果的だということがわかっています。トレーニングとトレーニングの間があきすぎると、筋肉は向上しませんし、反対に、筋肉が回復しないうちにトレーニングを行うと、筋肉に負担がかかり逆効果になってしまうからです。

この先生は、トレーニングの何に注意するように言っていますか。

1. トレーニングをする間隔
2. トレーニングの内容
3. トレーニング後に摂る栄養
4. トレーニングの強さ

**24番** 女子留学生が先生に将来の進路について相談しています。この女子留学生は何を調べてみるようにと言われましたか。

女子留学生：先生、私、将来は日本のアニメーションを自分の国に紹介する仕事をしたい  
と  
思っているんですが……。

先生：「コンテンツ産業」ですね。

女子留学生：「コンテンツ産業」？

先生：物ではなくて情報の内容を売るビジネスと言えばわかるかな。例えば、映画や音楽、ゲームもそうですね。日本の市場の伸びは頭打ちだと言われてい  
ま  
すが、それでも自動車産業の半分ぐらいはあるから、まだまだ結構な規模で  
す  
ね。

女子留学生：頭打ちですか……。アニメーション産業もそうなんですか。

先生：どうでしょうね。コンテンツ産業全体の伸びは鈍くても、分野によっては伸  
び  
ているかもしれませんよ。興味のある分野について日本での実情から調べ  
て  
みてはどうですか。

女子留学生：そうですね。そうしてみます。

この女子留学生は何を調べてみるようにと言われましたか。

1. 日本のコンテンツ産業全体の实情
2. 日本のアニメーション産業の实情
3. 自分の国のコンテンツ産業の实情
4. 自分の国のアニメーション産業の实情

**25番** 先生が、消費者からの苦情に対する企業の対応について話しています。この先生は、苦情は企業にどのような影響を与えていると言っていますか。

「苦情」と言うと、日本人は「単なる文句」と受け取ることが多いかもしれません。しかし、消費者からの苦情の中には、企業にとって情報として価値の高いものもあります。ある商品に対して出された苦情をよく考えてみると、新商品開発のヒントになることもあるのです。ですから、企業に対して苦情があったときに、それを上司や別の部署に隠そうとするのは間違っています。むしろ、情報として管理・共有すべきです。そうすれば苦情として寄せられた問題を解決できる可能性も広がり、結果として、苦情を言ってきた消費者が商品やサービスに逆に好意を持つこともあるのです。

この先生は、苦情は企業にどのような影響を与えていると言っていますか。

1. 企業や商品に対するイメージを悪くする。
2. 商品の価格が低下する。
3. 社員のやる気を高める。
4. 商品の改良やイメージの向上につながる。

**26番** 先生が、心理学の授業で、目標の達成について話しています。この先生は、どのように考える人が目標を達成できると言っていますか。

これまでに、目標の達成とそのことに対する考え方の関係について、様々な調査が行われてきました。ある調査によると、目標を達成できた人の考え方は、成功しても失敗しても、その原因を自分の努力や能力に求める場合が多いようです。なぜそのような考え方が目標の達成につながるかというと、失敗したとき、問題を解決するために自分はどうかしたらよかったのかを考えるので、問題の克服に向けて一層、具体的な努力ができるからです。

一方、目標を達成できなかった人は、失敗の原因を外的なもの、例えば、運が悪かったとか、目標が高すぎたというように考えがちです。つまり、自分の努力で解決できるとは考えないので、ますます目標を達成しにくくなるのです。

この先生は、どのように考える人が目標を達成できると言っていますか。

1. 失敗の原因は自分にあったと考える人
2. 失敗の原因は自分以外のところにあったと考える人
3. 失敗しないように目標を低めに設定する人
4. 失敗が起こる度に目標を変える人



**27番** 先生が、生物学の授業で、カーネーションという花の品種改良について説明しています。この先生は、カーネーションが持つある種の植物ホルモンの働きについて、何と書いていますか。

園芸用の植物のほとんどは、品種改良によって、人工的に変えられています。品種改良と言うと見た目の変化を思い浮かべることが多いですが、形や色のほかにもさまざまな改良があります。たとえば、カーネーションという花の場合、ある植物ホルモンの量を変えることによって、何と20日間も咲き続ける品種が作り出されました。

そもそも花が枯れるというのは、花が成熟し老化するということです。その進行に関わっているのがエチレンという植物ホルモんで、エチレンが多く出ると花は早く枯れてしまうのです。そこで、エチレンがあまり出ない種類を選び、それらを交配させることで、このカーネーションは作り出されました。

この先生は、カーネーションが持つある種の植物ホルモンの働きについて、何と書いていますか。

1. この植物ホルモンが多いと、大きな花が咲く。
2. この植物ホルモンが多いと、たくさんの花が咲く。
3. この植物ホルモンが少ないと、花が長い期間に渡って咲く。
4. この植物ホルモンが少ないと、鮮やかな色の花が咲く。